

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム あいしま相模原 令和5年3月3日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時のオリエンテーションで理念の説明を行ない、職員が常に意識出来るよう玄関、事務所内に掲示しています。又、日課であるラジオ体操の後に、ご利用者と一緒に唱和しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で、地域の行事も中止となっており参加する事は出来なかったが、日々の散歩では、挨拶や季節の会話を交わしています。又、近隣保育園から提案を頂きZOOMを活用した園児との交流の調整を進めているところです。	地域の行事についてはコロナの影響で、行事自体が中止となる等、仕方がない部分があると思う。時々、散歩しているところを見かけますが、皆さん和やかな雰囲気いいと思います。又、アルツハイマー月間や公民館祭りを活用しメッセージを伝える等は可能と思うので活用してみてはどうでしょうか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1度、高齢者支援センターや近隣保育園園長、民生委員や地域住民交え、コロナの流行等を踏まえ書面や対面での会議を開催、意見交換や助言等いただいている。	ヒヤリハット事例等の取り組み、対応の積み重ねや様々なアイデアや工夫等の情報を得るで、自分達も勉強になるので、今後も続けてほしい。又、地域でのサロン等の催し内容で毎月となると行き詰まる事も多々あるので、何か簡単にできる物作り等の情報等も得たい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者とは定期的に連絡を取り合い、ご利用者の近況報告や、相談を行なっています。又、地域の中の身近な相談場所として、高齢者安心相談ネットワークへの登録も行っています。	協力関係は出来ていると思います。今後、認知症の家族への介護教室等の開催を考えているので協力して頂ければと思うとの事で、ホームとしても協力依頼があれば行なっていきます。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会を設置、マニュアルの周知が出来ます。玄関の施錠は外部からの侵入を防ぐ目的もあり行っていますが、毎月のカンファレンスで検討、振り返りを行ない、運営推進会議で報告を行なっています。又、勉強		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				会や研修を通し知識、技術の向上に努め、身体拘束ゼロへの取り組みを行なっています。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会や研修にて学びを深めています。又、虐待チェックシートや自己チェックシートを用い自己を振り返る機会を作り、グレーゾーンとは何かを知る事で、虐待防止に努め、3ヶ月に1度面談を行ない課題解決の取り組みも行なっています。その取り組みが評価され、かながわ認証ベスト介護セレクト20を受賞する事が出来ました。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会や研修に参加しながら知識、技術の向上に努め、個々の状況に合わせ支援できる体制を整えています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居の相談を受けた時から、ホームの運営や支援内容の説明を行なっています。契約の際には、入居し関わる全ての書類を高等で読み上げ、十分な説明を行ない、不明点や不安等ないかの確認を行ないながら、理解、納得した上で同意を得ています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	玄関にご意見箱を設置、ご利用者やご家族が意見を気兼ねなく話せるような雰囲気作りに努めています。又、アンケートを実施し、要望や意見を知り、反映出来るような取り組みも行なっています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者と職員の間壁を作ら ず、意見や思いを話しやすい環 境作りに努めています。毎月の 会議で運営に関して改善する点 はないか話し合いを重ね、自施 設のみでは難しいと思われる意 見や提案については、上司に報 告、相談を行ない反映出来るよう 努めています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の事業報告書での報告に加 え、年に2回、考課表にて、個々 の努力を評価し、賞与や資格に 応じた手当等に反映しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップ形成システムを活 用し、個々の能力や資格に応じ た研修を実施、自己評価をもとに 面談を行ない、課題や目標を話し 合い次のステップに繋げる取り組 みを行なっています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年はコロナ禍の影響もあり相 互訪問等は自粛しておりますが、 相模原グループホーム連絡会へ の加入やラインを活用し他職種と の情報交換を行なっています。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る能力への働きかけを大 切に関わりをもっています。喜怒哀 楽を共に、個々にあった役割を 重視しながら、共に支え合う関係 作りに努めています。調理方法 や農作物の育て方等、ご利用者 から学ぶことも沢山あります。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの状況を踏 まえ制限を設けてではありますが、ご家族や知人、友人が面会 におみえになっています。又、ご 希望があればテレビ電話を活用 した支援も行なっています。	感染対策を十分に行ないながらも、関 係を維持していくのは大変なご苦労があ るかと思いますが、最大限の配慮が行え ていると思います。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に個々のご利用者との対話の機会を多くもつ関わりを行ない、個別の生活状況、体調や精神面を記録に残し、職員間で情報を共有、現状の把握を行なっています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族の意向をもとに、主治医や看護師、薬剤師の意見も取り入れ、課題やケア実践の効果等を、サービス担当者会議やカンファレンスで話し合い、ケアプラン作成に反映しています。	家族や入居者の要望をもとに関係機関の意見も交え、介護計画の作成に繋げる事が出来ていると思います。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録にて個別の記録を記載しています。又、個々のその日の状態を業務日誌に記載、朝、夕の申し送りで引き継ぎ情報の共有を図っています。毎月のカンファレンスでは、気づきや課題等の話し合いを行ない、ケアプランに反映しています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関への受診や入退院時の送迎、代行手続き等ご家族のその時々状況に応じ柔軟に対応しています。又、コロナ禍の影響もあり、一緒に買い物に出掛ける事はコロナの流行状況により自粛している時期もありますが、そのような場合であっても、ご利用者からの依頼を受け買い物支援等を行なっています。	一人で受診や買い物等、出来ない方に対し、個々のやりたい事をあきらめことなく支える事は、ご本人の権利や自己実現をしたい気持ちを大切にする上で必要な事で、十分に出来ていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、ボランティアの受け入れ等も含め、地域資源を活用する事が出来なかった。	感染流行状況に左右されるのは仕方がない事と思います。今後も状況に応じ活用できるものは活用していければと思います。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所の相談を受けた際に協力医療機関の説明も行ない、契約時に自由に選択していただいています。ご本人、ご家族の意向の確認をもとに、受診が必要な時には、職員が同行する等、適切な医療を受ける事ができる体勢を整えています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	安心して必要な治療が出来るよう、入院時にご本人の詳細の情報を提供しています。入院中も定期的にご本人の状態の確認を行ない、ご本人、ご家族の意向のもとに主治医や看護師、ソーシャルワーカーと話し合い、早期退院に向けて連携を図っています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所の契約の時に重度化した場合の説明を行ない指針を明示しています。職員は勉強会や研修、看取り介護の経験を活かし知識、技術の向上に努め、重度化した場合に対応できる体勢は整っています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	救命救急の研修への参加や、看護師による演習も交えた急変時の対応についての勉強会を通し、実践に活かせる知識や技術を習得出来るよう努めています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月、震災や火災を想定した自主訓練をおこなっています。又、年に2回消防署の協力を得ながら地域住民への参加の呼びかけを行ない、避難、通報、水消火器を使用した訓練を実施、災害時に速やかに対応出来るよう努めています。	災害対策を行っている事を、地域住民の方々にPRする事で地域住民の安心感も高まると思います。又、煙体験や起震車の体験等は参加されたい方も多いと思います。自治会の回覧板等を活用するのもいいと思います。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の行動指針をフロアーに掲 示、接遇マニュアルや接遇に関 する自己評価をもとに面談を行な い自己を振り返る機会を作り、常 に敬意をはらい関わりをもつ事へ の重要性を認識、現場で活かせ る取り組みを行っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面談や自己評価で自分を振り返る事は 重要で、入居者の尊厳を確保できる取り 組みを十分に行えていると思います。
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望がない限りは、食事やおや つは皆さんと一緒に摂っていますが、基本的には個々の生活習慣 や意向を尊重し利用者第一主義 を基本に、ご自身のペースで自 由に過ごされております。			
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の献立は決まっておらず、 その日の献立をご利用者と一緒に 考えたり、下準備や配膳、下膳 を一緒に行っています。又、個々 の好みの把握は出来ており、 個々の好みに応じ、味付けを変 える等、柔軟に対応しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録に記載、一目で水分、 食事量の把握が出来ます。個々 の摂取状況に合わせ、形態を変 えたり好みの物を提供する等、柔 軟に対応しています。摂取量が 少ないご利用者は、主治医に相 談、栄養補助食品を取り入れる 等、必要な栄養を補えるよう努め ています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力や口腔内の状態に応 じ、毎食後の口腔ケアを行なっ ています。又、訪問歯科医による口 腔ケアや治療も行い、毎月歯科 の助言書をもとに口腔ケア計画 書を作成、日々のケアに取り入 れ口腔内の清潔保持、トラブルの 予防に努めています。、		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心に配慮した言葉掛けを行ないながら、排泄チェック表を活用し排泄パターンを把握、排泄意が曖昧になった方も安易なおむつ使用は避け、トイレで排泄出来るよう支援しています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝前の入浴は難しいですが、可能な限り個別の希望を伺い体調に合わせて入浴しています。シャンプーや石鹸は希望があれば馴染みの物を使用、入浴剤を使用したり、四季の行事に合わせて菖蒲湯やゆず湯を提供しながら、リラックス出来るよう努めています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間は決まっておらず、個々の生活習慣や希望、生活リズムに沿って支援しています。遅くまでTVを視聴したり、早くに休まれる方など様々です。夜間眠れない時などは、介護者とフロアでお茶を飲んだり、眠たくなるまで対話する等、個々の状態に合わせて柔軟に対応しています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や看護師、薬剤師との連携体制が整っており、医療ファイルや薬剤師との連携ノートを活用し、内服薬の変更や効能、副作用について全職員が周知出来ています。服薬後の状態変化にも、速やかに対応出来る体制も整えています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活歴や趣味に応じ得意な事を活かし、役割がもてるよう支援しています。又、四季に応じた行事企画、ご利用者へのアンケート結果を活用しながら気分転換が図れる支援をしています。	施設にいながらも季節の移り変わりが感じられるような楽しい企画や、飾り物、壁に飾ってある写真や四季の壁紙作り等を入居者と一緒に行なっており、見ているとよく理解できます。今後も続けて頂きたい。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で、地域の行事は中止となっておりますが、コロナの流行時期を避けてではあります、希望があれば外出出来る支援体制は整えております。	コロナに帯する治療や予防策が完全に進むまでは、対策は必要だと思いますし、状況に応じではありますが、今は行なわない方がいいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に現金は所持しておりますが、ご本人の希望時には、いつでも使用出来る体勢を整えています。又、購入依頼があった場合の購入支援も行なっています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に応じ、電話発信や手紙を書くお手伝いをしながら、希望時にはいつでも連絡を取ることが出来るようよう支援しています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内は全てがバリアフリーで、廊下やトイレ、浴室には手摺りを設置、浴室も能力に応じ、安心して入浴できるよう、一般浴と機械浴を設置しています。又、ホーム全体の清掃に心掛け、衛生面や照明、室温管理を行なっています。フロアの壁には、毎月四季に応じた壁紙作りをご利用者と一緒に作成したり、四季折々の飾り付けや花を飾る等、居心地よい空間作りに努めています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者との会話や気付きを多くもち関わっています。日頃の会話や行動、表出が困難なご利用者の思いも、表情やご家族の協力を得ながら思いの把握に努め、個々の思いに沿った支援に繋がっています。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族やご本人からの情報をもとに職員間で共有し、日々の支援に繋がっています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームには常勤看護師が在中、夜間もオンコール体制が整っています。日々の健康状態の観察を行ない、提携している医療機関と連携を図り、体調に変化がみられた場合も速やかに対応出来る体制を整えています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望がない限りは、食事やおやつは皆さんと一緒に摂っていますが、基本的にはご本人のペースで自由に生活を送る事が出来ています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所に向け、新たに購入するのではなく、馴染みの家具や愛用品を可能な限り持参して頂けるよう説明を行い、持参される方が多いです。居室内は、写真や小物を飾る等、自由にレイアウトされ、ご本人にとって居心地のいい空間作りができています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの流行期は避けてになりますが、職員同行等、希望があれば外出に関わる支援を行える体制は整えています。	コロナの流行等、入居者の安全面も考えると難しいと思いますが、支援体制は整えているとの事で、今後コロナの状況をみながら行っていければいいですね。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの能力に応じた役割をもち、やりがいを感じ生活することが出来るよう支援しています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割の継続やレクリエーション、体操、散歩等を行っています。他入居者や職員と談笑する場面も多くもっています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍において地域と交流する機会は少ないも、日々の散歩では、自ら挨拶を交わしたり雑談する等、関わりをもつことが出来ている。	挨拶はコミュニケーションを円滑にする為には欠かせない大切な事で、コロナ禍の中、今出来る事を十分に行えていると思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	傾聴、共感、対話を多くもつ関わりを行なう事で、信頼関係が構築でき、安心した生活を送る事が出来ている。	人との交流により、幸福感や信頼感が増大する研究結果もあり、入居者の表情を見てみると、生活にはりをもち安心して日常生活を送っていると感じられます。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	